社会資本総合整備計画　事後評価書

計画の名称	桜町、花畑周辺のにぎわいの創出【第２期】		
計画の期間	平成２７年度　～　平成３１年度	交付対象	熊本市

計画の目標

九州中央の交流拠点を目指す熊本市において、桜町・花畑周辺は、平成24年3月に認定を受けた２期中心市街地活性化基本計画（熊本地区）において、本市中心市街地の中でも核となる地区と位置づけている。
このことから、桜町地区においては、再開発事業等により都市機能の更新や魅力ある都市空間としての再整備を行ない、にぎわい創出を図るものである。
さらに、再開発施設の隣接地に、利活用において自由度の高い「広場」を整備し、賑わいを最大化し、中心市街地の回遊性向上や上質な都市空間としての魅力向上を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

・市民アンケート調査により、「中心市街地に賑わいがあると感じる市民の割合」を把握する。　H27年度当初：41%⇒H31年度末目標：60%
・中心市街地における歩行者及び自転車通行者の通行量を把握する。（旧産業文化会館～新市街地点）　H27年度当初：10,644人⇒H31年度末目標：24,788人
（カリーノセカンド前地点）　H27年度当初：21,300人⇒H31年度末目標：29,792人
（旧ダイエー・櫻井総本店前地点）　H27年度当初：24,408人⇒H31年度末目標：30,524人

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H27当初）	中間目標値（H　末）	最終目標値（H31末）	備考
①市民アンケート調査により、「中心市街地に賑わいがあると感じる市民の割合」を把握する。	41%		60%	
②中心市街地における歩行者及び自転車通行者の通行量を把握する。（旧産業文化会館～新市街地点）	10,644人		24,788人	
中心市街地における歩行者及び自転車通行者の通行量を把握する。（カリーノセカンド前地点）	21,300人		29,792人	
中心市街地における歩行者及び自転車通行者の通行量を把握する。（旧ダイエー・櫻井総本店前地点）	24,408人		30,524人	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	A	B	C	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）
	19,082百万円	19,082百万円	百万円	百万円	0.0%

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
熊本市公共事業評価監視委員会による審議	令和4年1月
	公表の方法
	熊本市ホームページに掲載

１．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

Ａ　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	備考
A16-001	住宅	一般	熊本市	間接	熊本桜町再開発株式会社			桜町地区市街地再開発事業	市街地再開発事業 約3.7ha	熊本市						6,331.0	
A16-002	住宅	一般	熊本市	間接	熊本市			桜町・花畑地区暮らし・にぎわい再生事業	公益施設整備、花畑広場整備	熊本市						12,751.0	
										合計						19,082	

Ｂ　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
								合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

Ｃ　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
								合計						0.0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

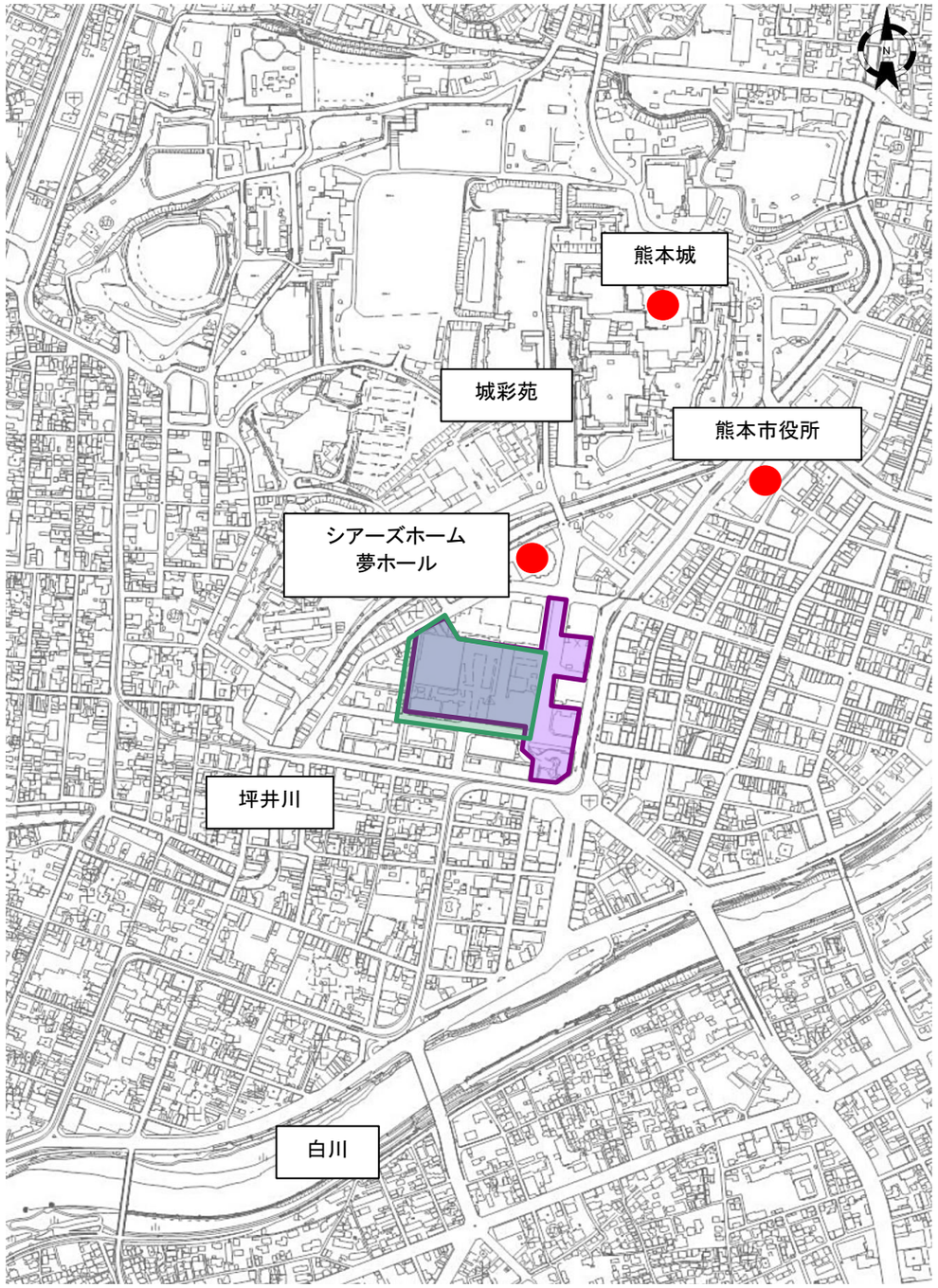
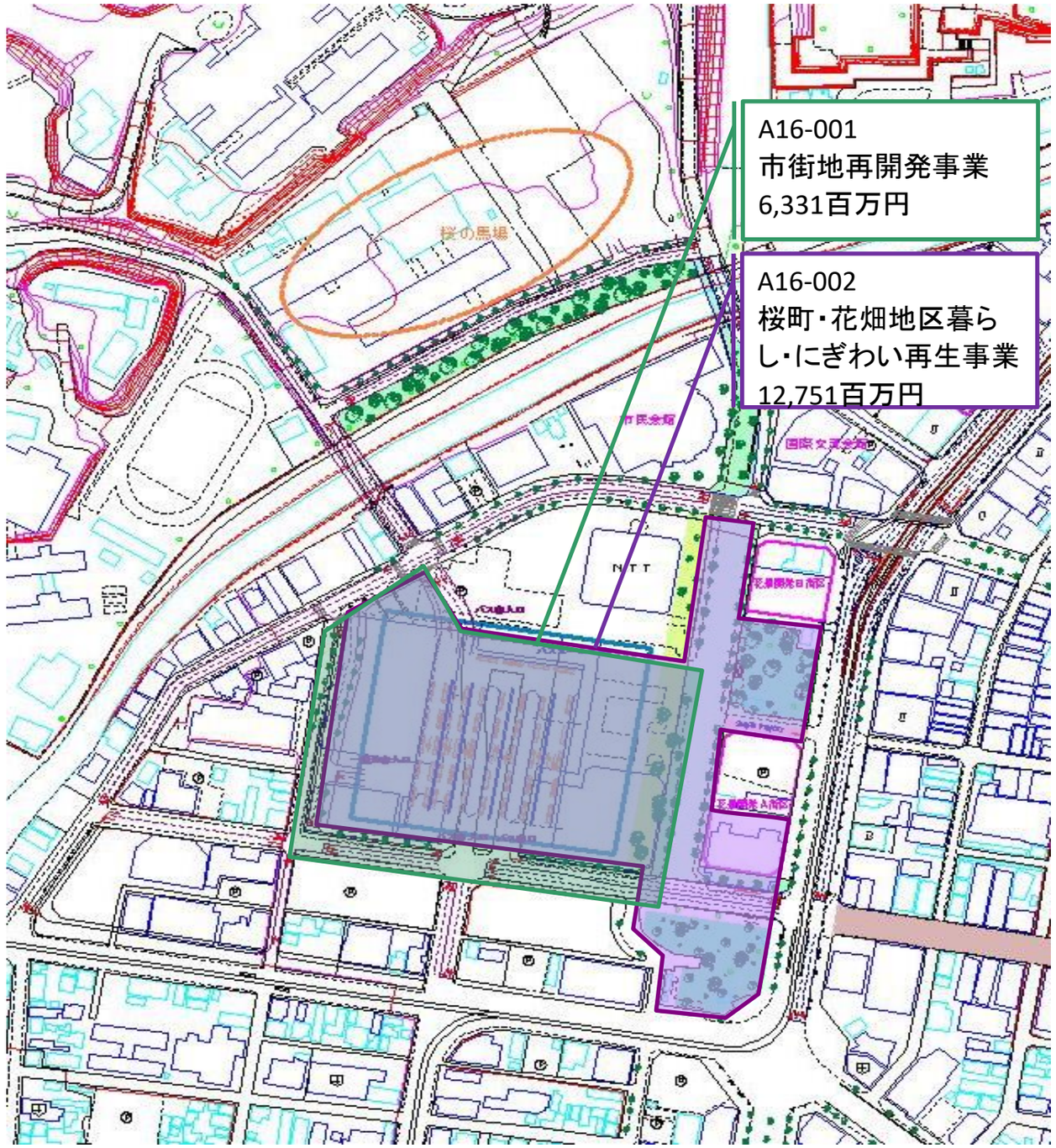
Ⅰ定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	≪桜町地区市街地再開発事業≫ 令和元年9月のバスターミナルオープン皮切りに、同年11月までに商業施設やホテル、展示ホール等を順次オープンした。 中心市街地の新たな賑わいを創出するとともに、災害時の一時帰宅困難者を受け入れるスペースの確保等を行い、地区の防災性を向上させている。 ≪桜町・花畑地区暮らし・にぎわい再生事業≫ 令和元年12月にグランドオープンした熊本城ホールは、市民主体の文化催事、式典、シンポジウム、屋内型イベント、展示会など、多種多様な催事等が開催され、市民の皆様をはじめとする多くの方に利用されており、中心市街地における新たなにぎわい創出などの効果が発現している。

Ⅱ定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	60%	目標値と実績値に差が出た要因	新型コロナウィルス感染症の拡大に伴う外出自粛。
		最終実績値	59.20%		
	指標②	最終目標値	24,788人	目標値と実績値に差が出た要因	新型コロナウィルス感染症の拡大に伴う外出自粛。
		最終実績値	17,508人		
		最終目標値	29,792人	目標値と実績値に差が出た要因	新型コロナウィルス感染症の拡大に伴う外出自粛。
		最終実績値	26,196人		
		最終目標値	30,524人	目標値と実績値に差が出た要因	新型コロナウィルス感染症の拡大に伴う外出自粛。
		最終実績値	30,492人		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）	

３．特記事項（今後の方針等）

≪桜町、花畑周辺のにぎわいの創出【第２期】≫
・最終目標値の未達成要因として、新型コロナウィルス感染症の拡大に伴う外出自粛があるため、今後も各地点の通行量を把握する。

（参考図面）

計画の名称	桜町、花畑周辺のにぎわいの創出【第２期】		
計画の期間	平成２７年度　～　平成３１年度	交付対象	熊本市